【樹木の部屋】

シラカシ（ブナ科コナラ属　Quercus myrsinaefolia ）

和名：シラカシ(白樫、白橿)　　別名：クロガシ、ホソバガシ、ナラバガシ

英名：bamboo-leafed oak、japanese white oak

ブナ目　常緑広葉高木　　原産地：日本、中国南西部、済州島

花言葉：長寿、勇気、力　　花色：黄、黄緑

← 写真-１シラカシ
撮影日：2020 年 5 月 8 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

↘ 写真-２　シラカシの小枝
撮影日：2020 年 5 月 8 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

← 写真-３　シラカシの葉(表)
撮影日：2020 年 5 月 8 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

→ 写真-４ シラカシの葉(裏)
撮影日：2020 年 5 月 8 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

シラカシは日本の表的な庭木で、高さのわりに幹が太くならず、狭いスペースでも圧迫感がないことや、火に比較的強いことが利点です。防塵、防火の役割を果しつつ、敷地内の乾燥も防ぐので古くから家を守るために生垣や防風林に使われてきた樹木です。細身の緑の葉が綺麗で、関東ではとてもポピュラーな常緑樹で、北関東における防風垣の代表的樹木だそうです(関西ではアラカシがよく使われます)。

材はカシ類で最も良質で、利用は多岐に渡り、器具材・建築材・船舶材・シイタケの原木などに利用されます。江戸時代には、槍の柄に一番良いとして用いられたそうで、硬く粘り強く重量もあります。

シラカシの葉は互い違いに生じる互生ですが、形状は個体差が大きいそうです。幅が狭くて先端の尖った楕円形で、やや厚くて表面には光沢があり、縁にはあまり目立たない浅い鋸歯(ギザギザ)があります。裏面は白みを帯びた緑色になります。

雌雄同株、雌雄異花で、４月～５月になると雌雄それぞれの花が咲きます。両方とも地味な花ですが、枝の付け根に雄花、上部に雌花が咲きます。雄花は茶褐色の苞と雄蕊からなり、垂れ下がった花穂(雄花序)になるため比較的見付けやすいと思います。

和名は、伐採直後の材がアカガシと比べて白いことや、葉の裏面が白っぽいことなどから「白樫」と呼ばれ、別名のクロガシは樹皮が黒っぽいことに由来するそうです。「カシ」の語源には諸説あるそうですが、材が硬い「堅し木」が転訛したとする説が有力とされているそうです。

シラカシは、稚樹の段階では日陰を好み、相当の日陰にも耐えますが成長すると日向を好みます。

シラカシの剪定は年 2 回行うのが基本です。

カシ類は、根元から伐採しても再生するほど芽を出す力は強いため、真冬や真夏でない限りは剪定で失敗する可能性は低い樹です。ただし、剪定を繰り返すと花やドングリが付かなくなります。

シラカシは頭頂部の生育が早いので希望の高さに達したら芯止めをします。徒長枝、立ち枝、逆さ枝など樹形を損ねる枝や枯れ枝を抜いていきます。樹勢の強い木上部をより重点的に剪定するとより効果的です。

シラカシの剪定適期は、6 月～7 月と 10 月～11 月半ば、年一回の剪定にする場合は、新芽が固まる 6 月半ばです。剪定の際は、外芽の先で不要な枝を落とし、丁寧に剪定する場合は、一枝に葉を三枚ほど残して枝先を切り詰める「三葉透かし」を行うと美しい仕上がりになります。

5 月～7 月の時期には、強剪定で比較的大がかりな剪定をして、木全体の骨組みを

整えます。切り戻しと呼ばれる、伸びすぎた古い枝を途中で切り、残したところから新しく強い枝を出すといった剪定も行うとよいでしょう。この時期に強剪定をするのは、「強剪定は樹木へのダメージが大きいため、回復の早い暖かい時期に行う」ためです。まだ木が整っていない若木のうちは強剪定を避けた方がよいそうです。

寒い時期(10 月～11 月)は枝の混み合ったとこを整える程度にします。この時期の剪定では太い枝は基本的に落とさず、枝先や弱った枝、枝が混雑してしまった部分を整理し、形を整える程度にしておくと効果的です。

シラカシは生命力が強いので、気になった都度軽く手入れをすることも可能です。樹の形や高さにこだわりがない場合は、自然に成長する形を楽しむのもよいと思います。

シラカシを防風林として生垣にする場合は、強めに剪定し脇芽の発育を促進させます。成長が早く刈り込みに強く、比較的自由に高さを調整できるのが生垣に向いているところです。また、シラカシは成長が早いため、剪定の適期以外でも軽く樹形を整える程度の作業はまめにしておいた方がいいです。

ただ、放置していると上部ばかりが成長して下枝がなくなりますので、見た目の美しさを保つためにはこまめに手入れする必要があります。

＜ちょっと一言＞

＊シラカシとの見分け方

・シラカシと比べるとアラカシの葉は幅広で卵型に近く、濃い緑色です。
・シラカシは葉の縁に浅いギザギザ（鋸歯）がありますが、
　アラカシは葉の先端付近のみに大型のギザギザ(鋸歯)があります。
・アラカシの葉の裏には毛がありますが、シラカシにはありません。